

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野

科目コード：230012

# 子どもと家族の保健医療福祉特論 Health and Welfare for Child and Family

担当教員 西村 真実子、武山 雅志、鈴木 敦子、熊谷 有紀子、明橋 大二

実務経験

開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
------	-------	-----	---	------	----

必修・選択	選択	時間数	30
-------	----	-----	----

Keywords

学習目的・目標 科目のねらい 目的：現代社会における子どもと家族をとりまく諸問題を取り上げ、その実態や背景、および保健・福祉・医療・教育における対応、課題について学ぶ。目標：1) 育児不安や子どもの虐待、不登校等の子どもと家族に関する問題の実態や背景、対応、援助、予防について理解する。2) 子どもの養育環境や子ども時代の体験の重要性を認識し、関連する諸問題の予防において効果的な支援やケア(治療的対応)について考察する。

授業計画・内容

回数	授業内容
1,2	子どもの虐待予防概説(文献1) 1. 定義、類似概念、統計、歴史、発生要因 2. 虐待されて育つとは/虐待のある家族 3. 子どもの虐待対応システム
3,4	虐待的養育環境の影響：生き残りの代価、役割にしばられるAdult children(文献1)
5	子どもの虐待における精神力動的及び生物学的要因(文献5) 1) 自己意識と自己同一性 2) 養育者の子どもへの歪んだ認知
6,7	3) 攻撃性、暴力、非行、犯罪 アセスメントⅠ：子ども、親、家族関係、親子相互作用(文献2～4)
8	アセスメントⅡ：虐待としてみることの弊害、ライフイベント、認知パターン、抑うつ (文献2～4)
9	アセスメントⅢ：コーピング、被養育体験(文献3)
10	虐待予防のケア(治療的対応)に役立つ知識：認知行動療法
11	虐待と関連深い精神障害と治療、被虐待児/虐待に悩む親への治療やケア
12	幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献6) 1) 「先取り不安」とうまく付き合う 2) 「バンダリー」の認識 3) 自分の中の「怒り」をこわがらないようにする
13	幼少期の傷つき経験の影響と対処(文献6) 1) 自分の「思い込み」を点検する 2) 「罪悪感」のワナから抜ける 3) 「くしゃくしゃになった」自分を手当てする
14	不登校の実態とその対応
15	諸外国における虐待等の問題とその対応

教科書

参考図書等

1 スティーブン・ハーマー、白根伊登恵訳：ほんとうの「私」のみつけかた、NAC協会、2000 2 ケビン・ブラウン他、上野昌江他監訳：保健師・助産師による子ども虐待予防「CAREプログラム」乳幼児と親のアセスメントに対する公衆衛生学的アプローチ、明石書店、2012 3  
北村俊則編集：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論、医学書院、2007 4 インサー・キム・バーク、磯貝希久子監訳、家族支援ハンドブックソリューション・フォーカスト・アプローチ、金剛出版、2007 5  
メアリー・エドナ・ヘルファ他、社会福祉法人子どもの虐待防止センター監修、坂井聖二監訳：虐待された子ども The Battered Child、明石書店、2003 6 季刊どいBe!(依存症・家族・AC…回復とセルフケアの最新情報)、ASKヒューマン・ケア 7 山口県健康福祉部：みんなでネットワーク 子ども虐待防止に関わる援助関係者の連携マニュアル改訂版、2006。 8 ジュディス・L・ハーマン：心的外傷と回復 増補版、みすず書房、1999

評価指標

1. 出席状況、授業への参加状況 50% 2. プレゼンテーションおよびその資料 50%

関連科目	
教員から学生への メッセージ	